純度試験（放射化学的異物）
　アセトン／0.5mol／Ｌ酢酸アンモニウム試液混液（３：２）を展開溶媒として、薄層クロマトグラフィーにより約10㎝展開して試験を行うとき、[N，N'―エチレンジ―Ｌ―システイネート（３―）]オキソテクネチウム（^{99m}Tc）、ジエチルエステルのスポット以外の放射能は薄層上の総放射能の10%以下である（R_f＝0.30～0.55）。
　なお、薄層板は薄層クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シルカゲルを用いて調製する。
定量法
　「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」の定量法を準用する。
9　過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液
　本品は、水性の注射剤で、テクネチウム99mを過テクネチウム酸ナトリウムの形で含む。本品は、定量するとき、検定日時において、テクネチウム99mの表示された放射能の90～110%を含む。
製法
　本品は、「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液ジェネレータ」又はこれに準じて製したジェネレータから生理食塩液で過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）を溶出させ、注射剤の製法により製する。
性状
　本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　本品について、ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法により試験を行うとき、0.141MeVにピークを認める。
⑵　純度試験⑴により確認する。
pH
　4.5～7.0
純度試験
⑴　放射化学的異物　75vol%メタノールを展開溶媒として、ろ紙クロマトグラフィーにより約10㎝展開して試験を行うとき、過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）のスポット以外の放射能はろ紙上の総放射能の５%以下である（R_f＝0.6～0.7）。
⑵　モリブデン99　本品の一定量をバイアルに精密に量り、特定の厚みの鉛容器に入れ、ガンマ線測定法の放射能の定量により、モリブデン99の放射能を算出する。ガンマ線測定法のGe半導体検出器による測定法の放射能の定量により放射能を測定する場合は、0.739MeVの放射能ピークを計数し、モリブデン99の放射能を算出する。このとき、モリブデン99の放射能は本品の総放射能の0.015%以下である。
⑶　アルミニウム　本品3.0mL及びアルミニウム標準液1.5mLを採り、それぞれ水２mL、3.5mL及び用時調製したL―アスコルビン酸溶液（１→20）2.4mLずつを加えて振り混ぜ、15分間放置する。次に、それぞれに水５mL及びアンモニア水（28）を加えてpHを８に調整した後、希塩酸を加えてpHを７に調整する。これらにpH3.8の酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液５mL、アルミノン試液１mL及び水を加えて正確に25mLとして20分間放置し、それぞれ試料呈色液及び標準呈色液とする。別に、水5.0mLに用時調製したL―アスコルビン酸溶液（１→20）2.4mLを加え、以下同様に操作して得た液を対照として、前記両呈色液について、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、層長１㎝で波長530nmにおける吸光度を測定するとき、試料呈色液の吸光度は、標準呈色液の吸光度より小さい（10ppm以下）。
定量法
　本品の適当量について、ガンマ線測定法の放射線の定量により放射能を測定する。
10　過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液ジェネレータ
　本品は、ジェネレータ剤で、モリブデン99を七モリブデン酸六アンモニウム又はモリブデン（Ⅵ）酸二ナトリウムの形で、適当なカラムに充塡したアルミナに吸着させ、これに「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」を溶出させるために必要な装置及び不必要な被ばくを避けるための十分な遮へい装置を合わせたものである。
　本品のカラムに生理食塩液を通じることにより「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」を溶出することができる。
　本品中に含まれるモリブデン99とテクネチウム99mが放射平衡にあるとき、本品の使用方法により本品から溶出される「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」は、定量するとき、検定日時において、モリブデン99の表示された放射能の60～110%を含む。
製法
　本品は、適当なカラムに適当量のアルミナを充塡し、このアルミナにモリブデン酸塩（^{99}Mo）液を加えて吸着させ、洗浄液でよく洗い、滅菌した後、その他の装置と、ジェネレータ剤の製法により製する。
溶出液試験
　本品の使用方法により、本品から溶出される液は、「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」の性状、確認試験、pH及び純度試験に適合する。
11　ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム（^{99m}Tc）注射液
　本品は、水性の注射剤で、テクネチウム99mをガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウムの形で含む。本品は、定量するとき、検定日時において、テクネチウム99mの表示された放射能の90～110%を含む。
製法
　本品は、「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」と、別に注射剤の製法により製した注射用の塩化スズ（Ⅱ）又は塩化スズ（Ⅱ）二水和物及びガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸とを混ぜ、注射剤の製法により製する。
性状
　本品は、無色澄明の液である。
確認試験
⑴　「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」の確認試験⑴を準用する。
⑵　純度試験により確認する。
pH
　2.5～4.0
純度試験（放射化学的異物）
　本品をバルビタール緩衝液（pH8.6、イオン強度0.06）を用いて適当な条件下でセルロースアセテート膜を用いる電気泳動法により試験を行うとき、ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム（^{99m}Tc）以外の放射能は泳動膜上の総放射能の12%以下である。
　なお、ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム（^{99m}Tc）の位置は、ポンソー３R試液を噴霧したときの発色により確認する（原線から陽極側1.5～3.5㎝）。
定量法
　「過テクネチウム酸ナトリウム（^{99m}Tc）注射液」の定量法を準用する。
12　ジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム（^{99m}Tc）注射液
　本品は、水性の注射剤で、テクネチウム99mをジエチレントリアミン五酢酸テクネチウムの形で含む。本品は、定量するとき、検定日時において、テクネチウム99mの表示された放射能の90～110%を含む。